R. I. 第2620地区　静岡第1グループ
三島西ロータリークラブ

週報

第2395号

事 務 所　静岡県三島市泉町９－８
ＴＥＬ〈055〉976－6351　ＦＡＸ976－6352
例 会 場　静岡県三島市本町６－３５　呉竹
ＴＥＬ〈055〉９７５－３２１０
会　長　前田　博利　　幹　事　杉崎　亮慈



広重版画より　三島　朝霧

第2468回例会

2026.9.24晴

司　　会　山本孝介君

ロータリーソング　「日も風も星も」
指揮　西本和夫君

会長挨拶

会長　前田博利君

皆様こんにちは…
本日の例会は米山奨学生　張ジェイ君の卓話になります。私も以前、うちの会社で米山奨学生の王（ワン）君が2年程バイトですがスタッフとして大活躍してくれました。彼の父親は中国東方航空勤務で比較的裕福な家庭、そんな方が米山奨学生として果たして適格なのか？もっと恵まれない国々の方々の方が米山奨学生として適格なのでは？と言う気持ちも有りました。しかし彼はとても勉強熱心で直ぐに仕事を覚えて日本語、中国語を使い分けてうちの会社ではとても重宝しました。しかも、卒業後は日本国内の会社に就職が決まり、日本、中国共々の国で日本の良さを丁寧に伝えてくれてます。とても日本が大好きな日本贔屓な中国人となっております。この事は色々な意味で米山奨学生の在り方を勉強させてもらいました。そんな意味でも本日の米山奨学生の卓話、真剣に聴いて頂けたら幸いです。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	38/49	77.55%	39/49	79.59%
今　回	39/50	78.00%	会員総数	54名

欠席者　秋元君、秋山君、井出君、川名君、窪田君、
鈴木（和）君、須田君、諏訪部（照）君、二村君、橋本君、
藤江君

“こんにちは、ようこそ”

ゲスト　　張　傑さん（米山奨学生）
ビジター　大庭治美君（三島RC）

幹事報告

幹事　杉崎亮慈君

1. 本日の卓話は、米山奨学生の張ジェイさんです。どうぞよろしくお願いいたします。
2. 次回例会は、移動例会となります。10月3日（土）、みしま未来研究所にて、「みしまアーバンスポーツフェス」を開催いたします。例会開始は10時です。お間違えのないよう、よろしくお願いいたします。
3. ガバナーノミニー・デジグネート指名委員会において、沼津北ロータリークラブの大塩秀樹（おおしおひでき）さんを指名することが決定いたしましたので、ご報告いたします。
4. 米山学友による世界大会「愛　in　台湾」が、12月4日（金）から3日間、台湾にて開催されます。ご興味のある方は、幹事までご一報ください。
5. 地区より、「不用品でポリオプラス貢献」の案内が来ております。ご家庭などにある不用品を各自で買取ショップ等にて換金していただき、その金額をポリオプラスへの寄付に充てる取り組みです。ご協力いただける方は、換金いただいた金額を10月8日の例会にお持ちください。幹事にて取りまとめ、総額を振り込みいたします。
6. 10月22日は、箱根の里において「過去の三島西RCを知る例会」を開催いたします。今回は、アーバンスポーツの事業内容を振り返るだけではなく、「なぜ新規事業を始めたのか」「なぜスナッグゴルフからアーバンスポーツへ発展してきたのか」「なぜこの事業を青少年奉仕として取り組んでいるのか」という背景や目的について、改めて会員の皆さまで共有する機会としたいと考えております。

2026～2027年度
国際ロータリー会長
オラインカ・ハキーム・ババロラ

CREATE LASTING IMPACT

おめでとう

会員誕生日　芦川君、諏訪部(行)君、遠藤君

入会記念日　矢岸君(35周年)、勝俣君、矢野君

スマイルボックス

◆三島RC大庭君、本日は張君を卓話にお招きいただきありがとうございます。よろしくお願いいたします。

◆古屋君、コールドシャワー、呼吸法、今朝で126日間継続。私はすばらしい！ありがとうございます。

◆関本君、なんとなく。

卓　話

私の日本留学とこれから

米山奨学生　張　傑さん

私は2002年1月2日に、中国の安徽省合肥市で生まれました。合肥市は安徽省の省都で、中国の東部に位置しています。日本ではあまり馴染みのない都市かもしれませんが、三国志がお好きな方でしたら、もしかすると合肥という名前を聞いたことがあるかもしれません。三国時代、合肥は魏と呉が争う重要な場所でした。215年には、現在の逍遥津周辺で、魏の武将・張遼と呉の孫権の軍が戦いました。「張遼、威震逍遥津」という故事の舞台として知られています。現在の逍遥津は公園になっており、合肥を代表する歴史的な場所の一つです。私にとっては、子どもの頃から身近にある場所でもあります。

日本留学のきっかけ

私はもともと、子どもの頃から日本に興味がありました。小さい頃はウルトラマンが好きで、特にタロウが好きでした。また、『千と千尋の神隠し』など、日本のアニメもよく見ていました。高校生になると、今度は日本の歴史に興味を持つようになりました。山岡荘八の『徳川慶喜』をはじめ、日本の歴史に関する本をいろいろ読むようになりました。本を読んでいく中で、日本の歴史だけではなく、日本の文化や社会についても、もっと知りたいと思うようになりました。そして、本や映像を通して日本を見るだけではなく、実際に日本へ行って、自分の目で見てみたいと思うようになりました。それが、私が日本への留学を考えるきっかけになりました。

2022年、私は日本に来て、ISI日本語学校で日本語の勉強を始めました。来日したばかりの頃は、日本での生活そのものがとても新鮮でした。日本での生活に少しずつ慣れていく一方で、大学進学に向けた準備も進めていました。ISI日本語学校で日本語を勉強しながら、日本留学試験(EJU)の勉強や大学受験の準備をしていました。そして2022年11月に、京都外国語大学を受験しました。無事に合格することができ、2023年4月から京都外国語大学で大学生活を始めました。

大学では授業だけではなく、いろいろな活動にも参加しました。その中でも特に印象に残っているのが、ドイツ語研究会での活動です。私はドイツ語研究会に入り、大学の語劇祭に向けて、仲間と一緒にドイツ語の劇に取り組みました。ドイツ語は私にとって新しい言語だったので、最初はセリフを覚えることや発音が難しかったです。また、劇は一人ではできないので、メンバー同士で練習したり、役割を調整したりしながら、一つの作品を作り上げていきました。この経験を通して、語学だけではなく、周りの人と協力することの大切さも学びました。

京都外国語大学でさまざまなことを学ぶ中で、自分がこれからもっと専門的に学びたい分野について考えるようになりました。特に、私はもともと歴史に興味があり、大学で勉強していく中で、国際政治や国際関係について、より深く学びたいと思うようになりました。そこで、大学での学びをさらに深めるために編入を考え、2025年4月に日本大学国際関係学部へ編入しました。京都から静岡県三島市へ移り、私にとっては、また新しい環境での大学生活が始まりました。現在は国際総合政策学科で、国際政治や安全保障などを中心に学んでいます。また、ゼミでは国際政治や安全保障だけではなく、科学技術と国際社会との関係についても学んでいます。こうした学びが、現在取り組んでいる卒業論文のテーマにもつながっています。

米山奨学生として

現在の私の留学生活の中で、もう一つ大切な経験となっているのが、米山奨学生としての活動です。米山奨学生になる前、私は奨学金というと、主に留学生の経済的な負担を支援していただくもの、というイメージを持っていました。しかし、実際に米山奨学生になってみると、それだけではないことに気づきました。例会やさまざまな活動に参加する中で、普段の大学生活だけではなかなか出会うことのできない、さまざまな世代や職業の方々とお話しする機会をいただきました。ロータリーの皆様との交流は、私にとって日本の社会をさらに広く知る機会にもなっています。また、皆様からご自身の経験や仕事についてのお話を伺うことも、これから自分の将来を考える上で、とても貴重な経験になっています。経済的な支援だけではなく、人とのつながりや新しい経験をいただいていることに、本当に感謝しています。

私は2027年3月に大学を卒業する予定で、現在は就職活動も進めています。卒業後は日本で就職し、ITに関わる仕事をしたいと考えています。これまでの留学生活の中で、さまざまな人と関わりながら、問題を見つけ、情報を整理し、相手に分かりやすく伝えることの大切さを学んできました。将来は、こうした経験を生かしながら、ITの知識や技術も身につけ、お客様や社会が抱えている課題の解決に貢献できる人材になりたいと考えています。また、日本に留学してから、多くの方々に支えていただき、さまざまな経験をすることができました。これからは、自分自身が成長するだけではなく、これまでいただいた支援や経験を、少しずつ社会に還元していきたいと思っています。

最後になりますが、改めて、米山奨学生としてこのような貴重な機会をいただいていることに、心より感謝申し上げます。これまで支えてくださった皆様への感謝を忘れず、これからも勉強や仕事に努力していきたいと思います。

(週報担当：小塚英樹)